

スーパーボウルのようなライブイベントで、200台のカメラの映像をどうやって一致させるのか



The challenge: Visual Consistency in Multi-Camera, Multi-Brand Setups

スーパーボウルでは、放送用、PTZ、ドローン、ジンバル、ミラーレスなど200台のカメラが、完璧に一致した映像を届ける必要があります。芝生の緑、ユニフォームの色、照明の違いによる肌の色。どのカメラの映像でも、視聴者はシームレスで統一された映像を期待しています。

サイアンビュー社(Cyanview)は、これを可能にします。オリンピック、NBA、世界的なファッションウィークなどの一流イベントで信頼され、現場の課題を解決することで支持を得てきました。同社の中核にあるのは、ブランドを問わずあらゆるカメラを制御できるモジュール式のカメラコントロールシステムです。映像エンジニアが、4Gや5Gなどのネットワーク環境でも、すべてのカメラで映像の統一感を維持できるよう支援します。

RCP: The Unified Control Interface

サイアン社の RCP(リモートコントロールパネル)は、イルミネーション付きボタン、高精度ロータリーエンコーダー、反応の良い3.5インチタッチスクリーンを備えた直感的なインターフェースで高度な制御を実現します。

このパネル1台で、ブランドや接続方法を問わず、すべての対応カメラを制御可能です。UIの切り替えやカメラの割り当ては不要です。Sony、Panasonic、Canon、RED、Marshall、DreamChip、BlackMagic Design など、すべてを一括で操作できます。

アマゾン・プライム、FIFAワールドカップ、ESPN、ル・マン24時間など、多くの大型イベントで採用されており、OBバン、フライバック、モバイル構成においてその実績が証明されています。

RIO:カメラ側でローカル制御も可能なスマートインター



RIO(リモート I/O)はカメラに直接接続され、LANC、RS422、VISCA などのプロトコルを IP 制御に変換することで、カメラとネットワークの間のブリッジとして機能します。さらに、以下のような高度な機能も備えています:

- ・ RIOはローカルでカメラ制御を保持し、RCP の接続が切れても設定を維持します。
- ・ カメラオペレーターおよび出演者向けのタリー対応
- ・ 5Gセルラー、LAN、Wi-Fi によるスムーズな制御

ツール・ド・スイスやパリ・ファッションウィークでは、バイク、ドローン、数km離れたカメラに RIO を搭載し、セルラーネットワーク越しに完全な制御、タリー、色調整を実現しました。

CIO:既存カメラとIP制御をつなぐ

多くの放送局にとって、既存のカメラ資産は依然として貴重ですが、それらをIP制御ワークフローに統合するのは課題となります。CIOユニットはこの問題を解決します。RS232、RS422、RS485、LANC、SBUSといった従来のシリアル制御をIPに変換し、旧型または特殊なカメラもサイアンビュー社のRCPでプラグアンドプレイで制御できます。

